

## アメリカ合衆国の思春期保健の起源と発展

宮原 忍 (東京大学医学部保健学科)

思春期保健については、アメリカでは早くからこれに取り組んだ先覚者があった。アメリカにおける思春期保健の歴史とその発展のプロセスを明らかにすると共に、最近のレーガン政権下の予算削減の影響についてを文献的に調べた。

米国において、医療・保健領域で思春期が問題になったのは、19世紀にLamuel Shattockが寄宿学童の保健サービスの必要性を、マサチューセッツ州の学校保健学術委員会への報告で、強調したあたりが早い記録である。1872~1911年には、学童に結核が流行し、学校保健への認識が高まった。20世紀初頭、ないし第二次世界大戦後、学校保健プログラムが発足した。これは小学校から大学までを含んでいる。

学会の活動としては、1941年にAmerican Academy of Pediatricsが、思春期に関するシンポジウムを催している。

1951年にBostonのChildren's Hospitalで、J. Roswell Gallagherが思春期外来を開いた。これに刺激されて、その後10年間に全米に35以上の思春期外来が設けられ、次いで1950年代末から1960年代初めにかけて多くの病院で入院設備も調べられた。1955年には、Academy of Pediatricsで、思春期に関するラウンドテーブル・ディスカッション、1959年にはIndianapolisで思春期のシンポジウム、1964年にはAmerican College of Physiciansの5日間にわたる思春期のケアの研修会、1965年にはWashington, D.C.のChildren's Hospitalでその後定期的に行なわれるようになった3日間のセミナーの第1回目が開かれた。

1960年代の中期にいわゆる“ヒッピー”革命が起こり、その結果、フリー・クリニック、クライシス・センター、家出青少年の家、ホット・ラインなどの新しい形の保健サービスが生まれた。

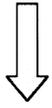
1968年にはThe Society for Adolescent

Medicineが発立された。また1970年から1980年代の初めにかけて、学校のドロップ・アウト、性病、家出、妊娠、薬物・アルコール・たばこなどの使用ないし乱用、非行、性行動の活発化などの思春期の心理・社会的問題が表面化し、思春期の保健ニーズに対する社会的関心が高まった。この頃から思春期に対する保健行政的プログラムが実施されるようになったようである。

1976年にはTask Force on Pediatric Educationが発足し、2年間に渡る検討の末、1978年に報告書をまとめたが、その中で思春期保健の重要性を強調していた。また、1978年にはThe Adolescent Health Service Actが制定され、思春期保健が特別の法律の下で実施されることとなった。

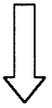
1981年にはReagan政権が発足し、“小さな政府”を目指して様々な福祉予算が大幅に削減された。この際、保健プログラムにブロック・グラント方式が導入された。これは従来の多くのプログラムを、幾つかのブロックにまとめて、ブロックごとに補助金を与える制度で、“母子保健”は第4ブロックを形成している。その内容は次のとおりである。

1)母子保健、2)障害児サービス、3)血友病、4)乳児突然死症候群、5)鉛含有塗料中毒予防、6)遺伝病、7)思春期保健サービス。思春期妊娠は、ブロックに含まれず、独立の事業として扱われる。1960年代に医療より保健への転換があったこと、Reagan政権下でも、10代の妊娠については、予算の削減の対象になっていないことが興味深い。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



思春期保健については、アメリカでは早くからこれに取り組んだ先覚者があった。アメリカにおける思春期保健の歴史とその発展のプロセスを明らかにすると共に、最近のレーガン政権下の予算削減の影響についてを文献的に調べた。

米国において、医療・保健領域で思春期が問題になったのは、19世紀に Lamuel Shattock が寄宿学童の保健サービスの必要性を、マサチューセッツ州の学校保健学術委員会への報告で、強調したあたりが早い記録である。1872～1911年には、学童に結核が流行し、学校保健への認識が高まった。20世紀初頭、ないし第二次世界大戦後、学校保健プログラムが発足した。これは小学校から大学までを含んでいる。

学会の活動としては、1941年に American Academy of Pediatrics が、思春期に関するシンポジウムを催している。